

## 四月 春の息吹とともに、新たな一歩。

### 坂井 佳朋（ちかまる寮ハウスマスター）

4月から、2人の中学1年生が親元を離れ、新たに『ちかまる寮』での生活をスタートさせました。小学校から中学校に上がるこの時期は、学習内容を含め、周りの環境が大きく変わるのももちろんのこと、思春期や反抗期が重なって、自分自身の考え方や見方も大きく変わっていく時期だと言われています。あらゆることが、大きく変わる「大変」な時だからこそ、精神的に不安定になり、不安や寂しさに押しつぶされそうになるかもしれません。そんな時は、地域の皆さまの温かいサポートが何より不可欠です。

子どもたちは今、勇気と覚悟を持って、未知の世界に飛び込み、友情を育み、知識を深め、夢に向かって歩み始めようとしています。地域の方々には、そんな子どもたちの成長を見守り、小値賀の一員として受け入れ、心強く支えていただきたいと願っています。

子どもたちが新しい生活に順応し、島の人の優しさ、強い風、海の香りといった、バーチャルでは体験できないものを体感して、知識や経験として自分の中に積み

重ねていくためには、地域の皆様の温かい歓迎と励ましがが必要です。地域の方の存在が、大きな意味を持ちます。『一人一人の夢の実現』へ向けた新たな一歩を隣で見守りながら、伴走していただければ幸いです。

これから始まる小値賀での日々が、子どもたちにとって素晴らしい冒険となりますよう、温かいご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



### 田 幹夫（ちかまる寮ハウスマスター）

ちかまる寮では新たな門出を迎え、留学生3名が小値賀を旅立ちました。それぞれが島暮らしを通して学んだこと、経験したものを今からの生活で活かして欲しいと思います。

令和6年4月からは、新たなふるさと留学生2名を迎えました。そのうち1名はしま親留学生からの継続生になります。

本年度は昨年以上に地域行事に参加させて、いろんな事を学んで欲しいと考えています。特に継続する寮生がその架け橋になってくれたらと願っています。

ふるさと留学では「感謝・自立・共生・協調の意識高揚、向上心・挑戦心の育成」を大事にしています。

留学生だけで身に付けるには難しいかもしれませんが。我々周りの大人が積極的に伝えていきたいと思っています。

これからも引き続き、ふるさと留学の取組をよろしくお願いします。



## ◎ちかまる寮ハウスマスター

寒の戻りで桜の開花も遅れましたが、春は巡ります。  
ひと足遅れで満開の桜にツツジが追いつくという不思議な春花が咲き乱れるなかで、新しいふるさと留学生をちかまる寮に迎えています。  
今回は福岡県から2名の中学1年生の女子寮生を迎えています。  
うち1名は昨年のしま親型留学からの継続です。

入寮日には、保護者を交えての懇親会を開きました。  
メニューは長崎らしさということで皿うどん。そして副菜に春巻き。ところが、どの店舗を回っても春巻きの皮が見当らず、調理人さんのひらめきで、ライスペーパーを使って揚げ焼きにしたところ、これがとても美味しく大正解!調理人の創意工夫でこの難局を乗り越えることが出来ました。

留学生は親元を離れた生活が始まり、小値賀での生活に楽しみと同じくらいの不安を抱えていると思います。ハウスマスターとして、島暮らしを通して心身ともに大きく成長していく過程をサポートしていきたいと思っています。



## 令和6年度ふるさと留学生を紹介します!

今年のふるさと留学は、継続生1名と新しい留学生1名の計2名の留学生が小値賀での新生活をスタートさせました。笛吹在地区にある「ちかまる寮」でハウスマスター等の寮運営スタッフとともに過ごしています。  
町民皆様におかれましては、離島の生活に憧れ、自分の力で頑張ろうと決意して来た留学生たちを、小値賀の子どもたちと同様に温かく見守っていただき、時には話しかけていただければ幸いです。  
どうぞよろしくお願いいたします。

### 入寮型留学生



おやま  
**小山 るり**

出身 福岡県  
学年 小値賀中学校1年生  
趣味 サイクリング  
好きな教科 体育・歴史・数学  
頑張ったこと・やってみたいこと 小値賀の魅力や自然を学びたい

### 入寮型留学生



いのうえ  
**井上 みち**

出身 福岡県  
学年 小値賀中学校1年生  
趣味 野球観戦  
好きな教科 外国語・国語  
頑張ったこと・やってみたいこと この生活に慣れる! いろいろな人と関わりたいです😊



## 声 コエ koe こえ

### ちかまる寮ハウスマスター

6月になりました。ちかまる寮では、今日も様々な声が響き渡っています。

釣りをしても魚に触れず、今まで聞いたこともないような低い声で「うわああ」という、恐怖の叫び声。

自転車に乗って、長寿寺で行われた変面ショーに行く途中に見た、海面のキラキラに「ありえん!!」という、心の底から感動した声。

田植え体験では、泥だらけでアカハライモリに怯えながらも「無心になれる」という、悟りを開いた声。

入寮記念手形をとる時、利き手の右ではなく「左手でもいい?」という、己の個性を感じさせる声。

学校から帰り「ただいまああ!お腹すいた!」という、元気な声。

柿の浜海岸で、海を見ながら「もう入りたい!泳ぎたい!」という、夏を楽しみにするウキウキわくわくの声。

2人でサイクリングに出かけ、途中で買ったアイスクリームが「おいしかった」という、幸せそうな声。

毎朝の挨拶「おはようございます」「行ってきます」そして毎晩の「おやすみなさい」という、日常生活の中に溶け込む声。

私たち大人が、毎日聞こえてくる子どもたちの声に、元気をもらったり、背中を押してもらったりすることも、たくさんあります。お互いが支えあいながら、小値賀という地域に見守られながら、日々成長しています。



### 梶 立人 (イベントの企画、運営)

#### 【自己紹介】

初めまして。私は4月から小値賀町に地域おこし協力隊として来ました梶立人(カジタツヒト)と申します。小値賀島に訪れたほとんどの人が目をキラキラさせて戻ってくることを目の当たり



にし小値賀島に興味を抱きました。そこで長崎大学多文化社会学部を休学し地域おこし協力隊に就任いたしました。小値賀島の一番の魅力は人の良さですが、魅力の一つに島外資本の流入が少ないことが挙げられます。コンビニなどのチェーン店がないため見たことがあるようなでないようなそんな不思議な感覚が島外出身者の中にあるのではないかと思います。「愛の心で他人の子もしましょ」という看板を堂々と掲げられる町が日本にあとどのくらい残っているのかわかりません。

他人の子をしかる行為は変質者として通報される場所がほとんどです。町全体での子育ては親の負担を軽減させる為、絶対に必要なことです。さて、私は地域おこし協力隊としてイベントの企画・開催を行います。目的は島内の活性化、そして島外出身者に小値賀島の魅力を発見してもらうことです。そのために何が出来るのか町民の方々と一緒に模索していきたいと考えています。ぜひ町民のお力添えを頂けると幸いです。

#### 【活動予定】

ピカソのゲルニカをモチーフにしたキッズゲルニカというものを町民と一緒に作成してみようと考えています。野外映画も検討しております。その他「こんなことしてほしい!したい!」などありましたらQRコードを読み取っていただき送信していただければ幸いです。





## ちかまる寮ハウスマスター

5月13日月曜日に寮生にとって初めての中高合同体育祭が行われました。

当初予定されていた日曜日は生憎の大雨となりましたが、月曜日は見事な晴天。初夏を思わせる陽気のなか、競技や係活動を頑張っていました。

今年の寮生はふたりとも中学一年生なので、なにもかもが初体験。体育の授業が増えたり、先輩や高校生との合同練習など慣れないことの連続で毎日へとへとになって帰ってきていました。

それでも、夕食後にふたりでダンス練習をするなど、限られた時間のなか一生懸命頑張っていました。このダンスが気に入ったのか、体育祭後も寮で時々踊っています。また、好奇心溢れるふたりは、このダン



スを民泊体験に来島された海外からのお客様に披露しました。

寮生同士が参加する種目を書き出していくと、「これ殆ど出ているよね」と感じるぐらいの参加種目の密度の濃さで、「今までの学校ではありえないよね」と笑い合っていました。積極的な行動が垣間見えたやり取りでした。

体育祭当日は、ご家族の方も応援に来られており、寮生にとっては久しぶりに保護者へ頑張っている姿を見てもらういい機会にもなったのではないかと思います。ちかまる寮スタッフにとっても、生徒みんなで作り上げる小値賀らしい体育祭を通して、生徒の一員として頑張っている寮生の姿は、嬉しく感じる一日でした。



## 梶 立人 (商店街活性化)

こんにちは。先日、小値賀町内の有志の方々に集まってお話しいただき、「おぢかにぎやかそかい」第1回目の会議を開催いたしました。内容は、今後の「おぢかにぎやかそかい」の運営体制や次に開催されるイベントの内容を話し合うというものでした。「おぢかにぎやかそ

かい」は、今後小値賀町でのイベントの企画、開催、運営を行っていく予定です。私の任期が終了しても、この取り組みを続けていきたいと考えていますので、イベントと一緒に盛り上げていただける方がいらっしゃいましたら、どうぞ気軽にお声がけください。



商店街に鯉のぼりを飾った際の制作シーン(不要のビニールで子どもたちと)5月



## ちかまる寮ハウスマスター

寮生たちは、自分の生まれた故郷を離れて、現在は小値賀で第二の故郷を築こうと、かんころ餅を作るためのサツマイモの苗を植えたり、おぢか山学校主催のカヌー&サップ体験に参加したりして、日々奮闘しています。地域の方々のお世話になりながら、様々な島暮らしを体験しながら積み重ねていく島での時間が、

子どもたちの意識の中に「故郷」を作っていくのだと感じます。

将来、寮生が大人になった時には、お盆の時期になるとなぜか小値賀の景色が心に浮かぶようになることを願っています。



ハウスマスターの畑でお手伝い



緊張のサップ初体験

## 梶 立人 (商店街活性化)

こんにちは。本格的な夏が始まり暑い日が続いております。7月は小値賀町内の子ども達総勢20数名と「キッズゲルニカ」※を作成しました。一人一人がそれぞれの考える平和・幸せについてキャンバスにぶつけ、大作を作り上げました。制作した作品は7月の間、商店街に飾り多くの方の目に留まったかと思えます。また、この作品を見るために商店街へ足を運んでくださった方々もいます。この作品は今月の8月1日から1ヶ月近く長崎市内の原爆落下中心地公園の下の川に展示されます。8月に長崎市内に赴く予定がある際はぜひ足を運んでみてください。



当日の制作風景

※「キッズゲルニカ」とは…世界各地の子どもたちによって、ピカソの『ゲルニカ』と同じ大きさ(縦3.5m×横7.8m)の平和の絵を描くという国際子ども平和壁画プロジェクト



## ちかまる寮ハウスマスター

真夏が続いた夏休み。留学生たちは実家で家族との時間を過ごしました。

1学期は、初めての寮生活と中学生生活に戸惑いながらも留学生なりに小値賀の生活を送りましたが、島暮らし体験を通して小値賀のことを学ぶという取り組みが思うようにできませんでした。

そこで、2学期を迎えるにあたり、ちかまる寮では島

暮らし体験の取り組み方法についてハウスマスターみんなで話し合いをしました。

小値賀の魚を食べるにしても、魚を自分たちで釣り、そして捌く。ただ、食べるだけではなく、魚を釣るための場所や準備の仕方を学ぶといった過程を経験することで、一貫した島暮らし体験を通して地域理解を深めて欲しいと思います。



## 梶 立人 (商店街活性化)

こんにちは。先月の『おぢか新聞』に書かせていただいたキッズゲルニカについて、長崎国際テレビ、長崎新聞、読売新聞など、複数のメディアに取り上げていただきました。さて、8月は島内でイベントが盛りだくさんの月でございました。『おぢかにぎやかそかい』では、七夕を開催させていただきました。小値賀島の七夕行事は旧暦の8月7日に行われるとの情報を得まして、「これは是非開催するしかない!」と企画いたしました。ターミナルなどの人が集まる場所に短冊を設置し、島民の皆様や観光客の方々に願い事を記していただき、商店街に飾らせていただきました。多くの方が島の未来に

ついて願いを綴られていました。また、小値賀島に東京藝術大学の一行が来島されました。藝大生の皆様と共にイベントと一緒に企画し、納島で凧揚げを開催させていただきました。これにより、島民の皆様、特に子供たちとの二次離島との関わりが深まったものと思います。東京藝術大学の学長も小値賀島に訪れ、座談会を開いていただきました。長崎大学からも複数の教授が集まれ、小値賀島の今後について東京藝術大学と熱心に議論を交わされました。教授の皆様は、小値賀島のファンであると仰っておられました。

